ひと・くらし・みらい AKARUISHAKAI

明るい社会

No.702

北のまちから あったかハート
ほっとちゃん
北海道内社会福祉協議会イメージキャラクター

道社協Facebook

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金
ここにも役立てられています



2
2024年度

目次

特集「生活福祉資金特例貸付調査から見る今後の借受者に対するフォローアップ支援」 2
道内福祉施設・事業所・団体紹介「はぁとステーション」 6
共同募金会からのお知らせ 7
「ほっとチャンネル」①市民活動団体の取り組み 8
「ほっとチャンネル」②社会福祉協議会の取り組み 9
寄付・寄贈のご報告 10
授産製品紹介「きらきらマルシェ」 11

特集

生活福祉資金特例貸付調査から見る 今後の借受者に対するフォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業や失業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に対し、令和２年３月より全国で生活福祉資金特例貸付制度（以下、「特例貸付」という。）による貸付が開始されました。この特例貸付は令和４年９月には貸付申請を終了しましたが、借受人の中には今もなお、厳しい生活が続いている方もいるため、道社協および市町村社会福祉協議会や自立相談支援機関等によるフォローアップ支援の強化が求められています。そこで、今号では、道社協と北星学園大学との連携協定に基づき実施した、「生活福祉資金特例貸付における相談体制のあり方に係る実態調査（研究者：北星学園大学 松岡是伸教授）」から浮かび上がった課題等を踏まえて、今後のこうした借受人（世帯）に対する相談支援体制について考えます。

「特例貸付」の現状や課題、今後の相談体制等について

北星学園大学　社会福祉学部社会福祉学科
松岡 是伸 教授

1. 生活福祉資金特例貸付の概要

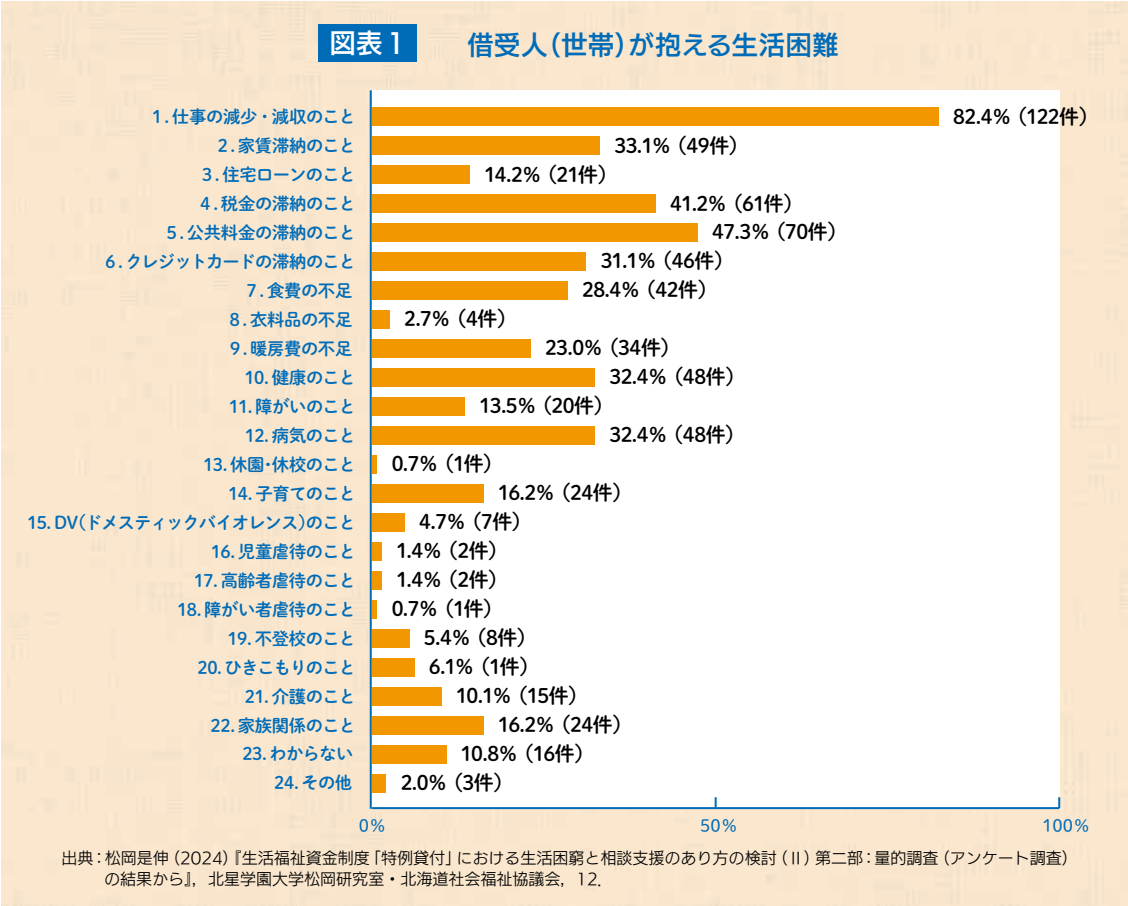
COVID-19の蔓延に対する感染症対策・生活支援策の一環で生活福祉資金「特例貸付」（以下、特例貸付）が実施されました。特例貸付では、主に市町村社会福祉協議会を申請窓口として職員自身も感染リスクを抱えながらの膨大な数の申請と事務処理にあたり、貸付申請の現場ではかなりの疲弊が続いたとされています。現在借受者にとっては、償還（返済）という新たな局面に入っており、この間、私は『生活福祉資金特例貸付における生活困窮と相談支援のあり方の検討について』の実態調査の機会をいただきました。そこで本稿では、この調査結果をもとに「特例貸付」の現状や課題、今後の相談体制等について考えてみたいと思います。

2. 「特例貸付」終了後の実態調査から

(1) 借受人・世帯の生活困難の状況はどのようになっているのか？

借受人が抱える生活困難な状況で最も多いのは、仕事の減少・減収（約82％）ですが、公共料金や税、クレ

ジットカード等の滞納、家賃滞納等も目立ちます（図表1）。その他にも疾病や健康面、家族関係、暖房費等に困難を抱えている場合もみられました。支援を要する借受人・世帯の生活困難は仕事の減少・減収、喪失にとどまらず、多岐にわたり複合化していることが明らかになりました。この傾向は2022年調査の『生活福祉資金制度特例貸付の制度利用の実態と償還に関する調査報告書』（拙稿）でも同様の傾向がみられ、経年的に複合的な生活困難を抱えていることが示唆されます。



出典：松岡是伸（2024）『生活福祉資金制度「特例貸付」における生活困窮と相談支援のあり方の検討（II）第二部：量的調査（アンケート調査）の結果から』，北星学園大学松岡研究室・北海道社会福祉協議会，12.

⑵「特例貸付」終了後の借受人・世帯にみられる生活課題はなにか？

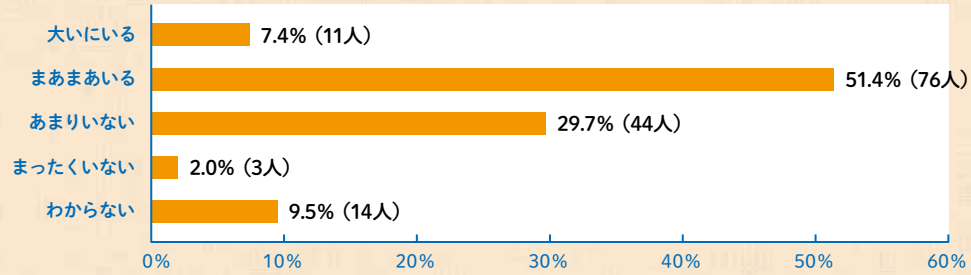
特例貸付終了後の借受人の生活課題は、いくつかみられますが、そのなかでも金銭・家計管理の課題や、生活力の脆弱性、償還（返済）が生活に与える影響の3点について着目してみましょう。第1に、金銭・家計管理の課題です。本調査では市町村社会福祉協議会の担当職員（以下、社協職員）の約70％が、借受人の生活困難が継続し、仕事や収入が不安定な状況にあるとみています。そして金銭・家計管理の課題では、家計収支のバランスが悪いことや、そもそも家計収支が管理できていないこと、COVID-19の蔓延を経て貸付や給付金に頼った生活の設計になっている等の回答がみられました。また、COVID-19の蔓延以前から既に金銭・家計管理に課題を抱えていた世帯等が浮き彫りとなりました。そのため借受人の金銭・家計管理を支える相談支援が必要となります。

第2に、借受人の生活力の脆弱性です。先にも述べたように金銭・家計管理の課題も含めてですが、例えば、償還（返済）・免除等の手続きの文書が理解できない、適切に対応できない等の課題を抱える人々がいるということです。本調査結果でも約58％の社協職員は、何らかの手続き的な支援が借受人には必要であると回答していました（図表2）。また送付されている文書すら見ていない場合もみられ、それらの一部は、未応答世帯となっています。これらのことから借受人の生活力の脆弱性もうかがえる結果となりました。

第3に、償還（返済）が借受人の生活に与える影響についてです。本調査結果において約23％の社協職員

は、償還（返済）によって借受人の生活が「悪化した」と回答しています。そして借受人の生活状況の悪化は、人口規模が3万人以上になると増加する傾向がみられました。さらに借受人の生活が悪化したと回答した社協職員を対象に質問したところ、COVID-19蔓延以前の生活状況に戻っていないことや、仕事・収入が不安定、多重債務等というように、未だに多くの生活課題を抱えているにもかかわらず、それらに償還（返済）が重なってくることで借受人の生活困難が深まるのではないかという危惧がみられました。また借受人によっては、償還（返済）額が膨大で「総合支援資金を重ねて借りている人は、返済が苦しくなる」等という回答もありました（図表3）。これらのことから償還（返済）が借受人の生活の悪化や家計の逼迫（ひっぱく）等を招く恐れがあることが示唆されました。

図表2　特例貸付の償還、免除等の手続きの際に、支援が必要な人々がいる



出典：松岡是伸（2024）『生活福祉資金制度「特例貸付」における生活困窮と相談支援のあり方の検討（Ⅱ）第二部：量的調査（アンケート調査）の結果から』，北星学園大学松岡研究室・北海道社会福祉協議会，17.

以上のことから、これまでみてきた生活課題は、各々単独に生じているわけではありません。これらの生活課題は、借受人の生活のなかにおいて、タイトにインターロック（連結）しており、複合的、重畳（ちょうじょう）的な生活困難・課題として浮かびあがってくることになります。

3. どのような相談支援・その体制を構築するか
―相談支援とフォローアップ

紙幅の関係で詳細に述べることはできないものの、相談支援については主に2つ点が示唆できます。ひとつは、〝ライフステージに沿った長期的な相談支援と体制の構築〟が求められます。長きにわたる償還（返済）の間に借受人は、ライフステージの変化を迎えます。例えば、自身や家族の健康の変化、子どもの進学、介護が必要になる等です。そのような変化とともに、私たちは支援を届けなければなりません。そのため借受人が困ったときに対応できるような関係づくり（伴走的な支援）や、困難を抱えた時に適切な機関へつなぐことができる体制構築も必要となります。

もうひとつは、これまでみてきたような体制を構築することで、借受人へのフォローアップ支援も充実していきます。例えば、伴走的な支援をすることで、順調に償還（返済）している借受人が何らかの困難を抱えた際、社協に相談しやすくなります。これらは償還（返済）が順調ではない、もしくは未応答世帯等についても同様で、借受人とコンタクトをとったり、多機関との情報共有できる関係を築いておくことが重要となります。

図表3　生活福祉資金特例貸付の貸付金の償還（返済）（事務局整理）

特例貸付の貸付種類	最大貸付金	償還期間
緊急小口資金	20万円 ※1回限り	2年以内
総合支援資金	180万円 ※60万円×3回	10年以内

※世帯によっては上記最大で200万円の償還（返済）が必要
※現在は貸付を終了

市町村社協の取り組み

ワンストップ相談体制による断らないフォローアップ支援の確立

社会福祉法人富良野市社会福祉協議会

1 富良野市社協の相談体制

富良野市社協では6名体制で、ワンストップの断らない総合相談を行っています。

生活困窮者への支援については、生活困窮者自立相談支援事業と生活保護受給者自立相談支援事業を受託し生活保護受給前後も切れ目のない相談支援を提供するとともに、権利擁護センター事業や生活支援体制整備事業も受託し、生活困窮者の複合的な課題に対し幅広い支援を行える体制づくりを進めています。

2 他機関との連携・アウトリーチ

日常的な業務連携に加え、毎月定例で市の福祉関係部局や地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センターと当社協の相談支援担当者が参加する「支援会議」を開催しており、コロナ禍後はコロナ特例貸付担当者も出席しています。

これにより生活課題が多岐にわたるケースや、各機関窓口にて把握した介入前の心配なケースを共有し、要支援ケースを見逃すことなく、早期に多機関協働による支援介入ができる体制づくりを目指しています。

3 独自事業展開（生活困窮者サポート事業／あんしん預かり事業）

富良野市社協では生活困窮者の多様な課題に即応するため独自の支援事業を展開しています。

生活困窮者サポート事業は市内3法人協働による貸付事業で、10万円以下の貸付については社協単独で審査を行うため、早急柔軟な貸付判断が可能で、相談者の多様な状況に即応することができます。

また、あんしん預かり事業は身寄りがない方への権利擁護支援として行っている金銭管理支援ですが、家計改善支援と併用することで、家計の早期立て直しや安定した医療・福祉サービス利用を実現することができます。

4 償還免除を行ったコロナ特例貸付の借受人へのフォローアップ支援の事例

特例貸付時から離婚の話が出ていたケースで、子3人を連れて別居を開始したものの低収入で生活が厳しいとのことで再相談に至りました。

個人事業主で多重債務があったため、弁護士へ繋ぎ自己破産に向けた手続きを支援、同時に、別居後も夫が離婚を承諾せず、児童手当の手続きが停滞したため、離婚及び婚姻生活費分担調停申し立てについても支援しました。

転居した現住居は老朽化が激しく取り壊しが決まっており、今後の住居、就労、養育など償還免除後も問題は多岐に渡っています。

今後も社協の機能と他機関の協力を最大限活用しながら安定した生活の獲得まで引き続きフォローアップしていく予定です。



はぁと♥ステーション

道内の福祉施設・事業所・関係団体等の取り組みを毎回ご紹介します



社会福祉法人
旭川隣保会
トキワの森

施設長／地口 ひとみ

〒070-0810
旭川市本町2丁目437番地80
TEL 0166-55-7061
FAX 0166-55-5880

母子生活支援施設とは、母と子が一緒に入所して生活できる唯一の児童福祉施設です。

母子が安心・安全に過ごせる環境を提供し、その生活全般を支援しています。母子が目的を持って自立できるように一緒に考え、心に寄り添うことを大切にしています。

旭川隣保会トキワの森は、平成20年に建て替えが完了し、20世帯の受け入れを30世帯に拡大しました。





■トキワの森での生活

朝は、にぎやかに「いってきます」と保育園や学校、職場に向かって行きます。学校から帰って来ると施設内での学童保育が始まります。小さい頃から兄弟のように過ごしてきた子どもたちは、時にはケンカをしながらも楽しい時間を過ごしています。プールや大きな公園に遊びに行ったり、冬には雪遊びをしたりと戸外遊びを中心に楽しんでいます。また、バスで旭山動物園に行き、バックヤード見学を行い、動物の生態を知る良い機会にもなりました。夏にはキャンプに行き、海水浴やＢＢＱ、いちご摘みを楽しみ、冬のキャンプでは、わかさぎ釣りや犬ぞり体験、星空観察など、北海道の四季を満喫しています。



■地域との交流

地域との関わりが減り、孤立する家庭も少なくありません。トキワの森では、地域世帯の子育ての息抜きになるようにショートステイ事業・トワイライトステイ事業で1歳～中学生までの保育を行っています。地域の方々が必要としてくれており、「家も楽しいけど、ここも楽しいね」と子どもに言われ、うれしい気持ちになったこともあります。

コロナ禍を経て、徐々に以前のような行事の規模に戻って来ています。特に今年の夏祭りでは、退所者、退職者、地域の方々を呼んで盛大に行うことができ、初の試みで『もちまき』をしました。「楽しかった」という声をたくさん聴くことができ、うれしい限りでした。冬のクリスマス会もたくさんの方が参加しました。幼児の遊戯や小学生の劇を見て子どもたちの成長の早さに驚いたと共に大きく感動しました。

退所者や退職者は、久しぶりに顔を合わせ、思い出話や自分を取り巻く環境の変化などの話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごすことができました。

例年通り行ってきた行事や支援は、コロナ禍を経て振り返り、見直しを行い、新しい行事を取り入れて支援の方法も変化しています。長い歴史にあぐらをかくことなく、日々の振り返りを大切にし、利用者の豊かな自立をめざしていきたいと思います。

営業品目
■広告代理業 ■デザイン制作
■オンデマンド印刷 ■オフセット印刷
■COPY・製本 ■スキャニング
■電子納品 ■HP制作
■設計・CAD・建築施工図作成
■OA機器、什器備品、事務用品販売
■看板
北海道社会福祉協議会 賛助会員

欲しい『ヒト』に、欲しい『モノ』を、
欲しい『トキ』に、欲しい『カズ』だけ。
ondemand ALPHA BUSINESS

すべてがオンデマンド。
株式会社 アルファビジネス
E-mail info@alpha-businesss.co.jp
U R L https://www.alpha-business.co.jp
札幌本社 〒060-0906 札幌市東区北6条東4丁目1-7 de AUNE SAPPORO 3F TEL (011)741-7998 FAX (011)741-9091
帯広支社 〒080-0312 河東郡音更町南鈴蘭南1丁目1番地2-6-15
東京支社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-19-12
印刷工場 〒063-0062 札幌市西区西町南11丁目1-10
Green Power WIND 546000
FUJIFILM
Iridesse Production Press
【CMYK+金+銀+白+クリア】

赤い羽根共同募金からのお知らせ



「赤い羽根共同募金助成金」１次募集について

北海道共同募金会では、安心・安全で住みよい福祉のまちづくりのため、住民が自発的・組織的に行う創造性豊かな社会貢献活動や、地域における子育て支援活動など、柔軟かつ多様な福祉活動を行っている団体・グループを対象に、助成事業の公募を年２回行っています。（１次募集：３月／２次募集：９月）

● 募集概要

助成の対象	1.北海道内で活動する「住民団体やグループ」で活動実施に要する資金の確保に困難をきたしている団体。 2.自主性（特定の企業、政党、宗教団体などから独立して運営）をもって運営され、非営利並びに情報公開の実施を原則としている団体。			
助成の対象となる費用	活動のため必要な会議費、研修費、備品・機材等の購入費、ＰＲ資料などの作成費、また、活動団体の運営に最低限必要な経費。 ※下記の費用は助成対象として認められません。 飲食費、講師謝礼、報酬、人件費、建物の増改築、附帯設備の整備、高額高機能な機器・備品や作業機械等、研修旅行費、高額な交通費等			
助成限度額	１団体あたりの助成限度額は50万円を限度とします。 ※助成金を運用できる期間は原則として単年度となります（交付日～2026年3月迄） ※選考の結果、助成額が要望額より減額することがあります。			
募集、決定、交付時期について		募集時期	決定時期	交付時期
	１次募集	３月１日～31日	５月中旬	決定から１ヶ月以内
	２次募集	９月１日～30日	11月中旬	
	※１次募集、２次募集どちらも助成金決定後～2026年3月31日の期間実施する活動に対しての助成金になります。 なお、助成金決定以前の活動をさかのぼって対象とすることはできません。			
応募方法	募集（応募）要領に基づき、規定の様式により要望内容を書類で提出していただきます。			

※「赤い羽根共同募金助成金募集(応募)要領」ならびに「申請書様式・記入例」は、北海道共同募金会ホームページ「助成情報」からダウンロードが可能です。▶https://www.akaihane-hokkaido.jp/jyosei/jyoseiinfomation/

寄付金つき赤い羽根ご当地ピンバッジ 申込受付中

北海道内各地のご当地キャラクターや景勝地をモチーフにした2024年度の寄付金つき赤い羽根ご当地ピンバッジにつきまして、インターネット上の特設サイトよりお申込を受付けております。

是非、ご協力をお願いいたします。

北海道の赤い羽根共同募金　赤い羽根ピンバッジ　特設サイト
（サイト運営：㈱ＴＫＣ）

※申込受付：２０２５年３月31日（月）まで

https://akaihanehkd.official.ec/





お問合せ

社会福祉法人　北海道共同募金会
〒060-0002　札幌市中央区北２条西７丁目 かでる2･7 ４階
TEL　011-231-8000／FAX　011-231-8003
ホームページ　https://www.akaihane-hokkaido.jp/

赤い羽根共同募金
赤い羽根　北海道　検索

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。
北自共の総合自動車共済・自賠責共済

北海道社会福祉協議会賛助会員
札幌市見守りポスター掲示協力賛助会員

イランカラプテ

1事故1担当者制	1つの事故に対して1人の専任担当者が担当
充実のロードサービス	24時間365日対応・等級に影響なし
安心の事故対応力	事故解決の専門家が素早く対応



自動車共済は
北海道社会福祉協議会を
応援しています！

☎011-721-5233
FAX：011-721-0801
電話の受付時間／平日 9:00～17:15

中小企業と従業員の皆さま、個人事業主さま向けに割安な掛金！
北海道自動車共済協同組合
〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2　https://www.hokujikyo.jp

北自共承認NO.23-008

特定非営利活動法人恩おくり

おんくりカフェ・おんくり食堂・支え合い講習会・支え合い交流会

☆北海道社会福祉総合基金とは☆
昭和48年に民間福祉事業の進展のために設立された北海道社会福祉協議会で管理・運営している基金です。基金の運用益を活用しながら、道内の児童、障がい者、高齢者、地域福祉、生活困窮者分野に対する様々な福祉活動を行う団体への助成事業を進めています。

★特定非営利活動法人恩おくり★
代表者名：岩本　希
設立年月日：2024年2月14日
（任意団体としては2022年11月に発足、12月から活動開始）
会員数：34名
連絡先：江別市大麻扇町3番地の16
TEL：080-9279-5251 メール：npo.onkuri@gmail.com

私たちは誰もが優しさを送り合い、安心して暮らし続けられる支え合いの社会をつくることを目標に様々な活動に取り組んでいます。活動を通して世代を超えてつながり、誰ひとり取り残さない、100年後も笑顔あふれるまちづくりを目指しています。

●基金を活用した事業

①地域の居場所恩カフェの運営
②子ども食堂・地域食堂の運営
③ヤングケアラー講習会、交流会の開催
④広報活動

●良かった点

子どもたちが我慢せずお腹いっぱい食事ができたことが最大の成果でした。ヤングケアラー講習会で学んだことを活かし、若者へのさりげないサポートが実現でき、また活動を広く周知する広報物も作成できました。



特定非営利活動法人恩おくりは、江別市において「誰もが支え合い、安心して暮らし続けられる社会」を目指し、大麻扇町商店街の空き店舗を活用して活動を展開しています。地域の居場所「恩ちゃん家」では、誰もが気軽に集える「恩カフェ」の開放や、みんなで作って食べる子ども食堂・地域食堂を運営しています。また、江別市内で唯一のフードバンクとして、市内の子ども食堂や関係機関と連携し「フードサポートネットワークえべつ」（仮称）の構築を進めており、各子ども食堂が地域に根差した生活支援の拠点となるよう支援しています。









拠点となっている大麻扇町商店街は、古くから地域住民の生活を支えてきた小さな商店街ですが、高齢化や後継者不在により衰退化が課題となっています。この課題に対し、定期的なイベント開催や「家庭菜園0円マーケット」の実施など、商店街の活性化に取り組んでいます。また、大学生など地元の若者たちと協働し、多世代交流の場としての機能も強化しています。

活動に参加する大学生の中には、潜在的な課題を抱える方も少なくありません。ヤングケアラーや自己肯定感の低さなど、様々な生活課題を背景に「生きづらさ」を抱える若者もいます。当法人の活動を通じて、異世代との交流や多様な経験を積むことで、社会への旅立ちに向けた不安の軽減を目指しています。

当法人には多世代のボランティアメンバーが関わっており、「みんなで作るみんなの居場所」として、誰もが役割を持ち、自分を認められる場づくりを心がけています。この活動を通じて、互いに優しさを送り合う喜びを感じ、支え合いが当たり前の社会づくりにつながることを願っています。



令和6年度北海道社会福祉協議会会長表彰（優良社会福祉協議会）受賞

鹿追町社会福祉協議会の活動を紹介します（代表者：会長　白川 悦子）

北海道内の179市町村には、各市町村に社会福祉協議会（略称：社協）があり、地域住民の皆様とともに、福祉のまちづくり活動を行っています。今号では、鹿追町社協が行っている取り組みについてご紹介します。

鹿追町について

鹿追町は、北海道中央部にある大雪山国立公園の南麓にあり、十勝平野の北西部に位置しています。人口は約5,000人で、畑作・酪農（畜産）が基幹産業として営まれています。北部の大部分は国有林ですが、天空の湖とも称される「然別湖」があり四季折々の風景が楽しめるとともに、冬の時期にだけ現れる幻の村「しかりべつ湖コタン」では、大自然と調和した神秘的な世界観を感じることができます。2013（平成25）年には十勝で唯一のジオパークとして認定を受け、国内のジオパークで唯一「凍れ」をテーマに掲げた活動が行われ、鹿追町ならではの町づくりが進められています。

鹿追町生活あんしん相談窓口の設置

鹿追町では、8050問題やごみ屋敷問題、ヤングケアラー問題など、困難事例ケースの対応を、行政と社協で協働し、重層的支援体制整備事業を活用しながら支援体制整備を進めることとしました。

令和４年度からは、町からの受託事業により社協内に「鹿追町生活あんしん相談窓口」を設置し、生活困窮者に対する生活や就労等の相談支援を進めているところです。なお、早急に対応しなければならないケースや、家庭内で複合的に問題を抱える複雑なケースなど対応が難しい事例もあり、関係機関の協力を得ながら進めています。

さらに、令和５年から新たに社会福祉士を採用し、相談支援包括化推進員として、町及び関係機関と連携を図りながら、本町の福祉重層支援の取り組みを進め、情報収集や支援ニーズの把握、社会資源との調整を行っており、属性を問わずつながり続ける伴走型支援体制を構築して取り組んでいるところです。

居宅介護支援事業所の設置

令和４年度に、居宅介護支援事業所「ケアプランセンターしかおい社協」を立ち上げ、介護サービスの相談や適切なサービスの提案、ケアプランの作成など、新たに介護支援専門員（ケアマネージャー）を採用して対応しています。要介護認定者が、住み慣れた町や自宅で自立した生活が送れるよう支援しています。

鹿追町成年後見支援センターの設置



令和５年４月より、町の委託を受けて同センターを開設し、成年後見制度に関する相談支援や利用支援、普及啓発活動などを行うとともに、法人後見業務も受任しています。また、身近な立場で支援する市民後見人の養成講座を開催し、支援体制の構築の取り組みを進めています。



この他にも、ひとり暮らし世帯を対象にした「わくわくバスツアー」や70歳以上の方を対象とした「ふれあい給食事業」、ご本人やご家族に代わって金銭管理を行う「あんしんお預かりサービス」など社協独自の事業も展開し、住民にとって身近な福祉サービスの提供も行っています。

鹿追町社協職員ってどんな人？？



法人運営や地域福祉、高齢勤労者対策事業を担当する企画総務係、訪問介護や地域支援を行う介護福祉係、居宅介護支援事業所や成年後見支援センター、生活困窮者対策事業を行う福祉相談係の３つの係があり、正職員、臨時職員含め15名で業務を行っています。住民の皆様が住み慣れたまちで安心して生活することができるよう地域福祉活動を推進してまいります。

●所在地等：〒081-0222 河東郡鹿追町東町４丁目２番地１ 鹿追町トリムセンター内
電話・FAX：0156-69-7700　HP：https://www.shikaoi-shakyo.jp



寄付の受入状況

（令和６年９月１日～令和７年１月31日まで）

たくさんのご支援ありがとうございました。

◎本会へのご寄付をいただきました。

（敬称略）

年　月	寄付者（団体）名	寄　付　先	寄付内容
令和6年9月～ 令和7年1月	一般社団法人いいことファーム	北海道社会福祉総合基金	金　242,400円
令和6年9月～ 令和7年1月	株式会社日本トリム	北海道社会福祉総合基金	金　421,300円
令和6年12月	ブックオフコーポレーション株式会社	北海道社会福祉総合基金	金　9,006円

◎社会福祉施設等へのご寄付をいただきました。

（敬称略）

年　月	寄付者（団体）名	寄　付　先	寄付内容
令和6年10月～ 令和6年11月	一般社団法人生命保険協会　札幌協会	浦臼町社協、 特別養護老人ホームみのりの里 共和、 障がい者就労支援の会	福祉巡回車、車いす、 名刺断裁機一部費用
令和6年10月～ 令和6年11月	一般社団法人生命保険協会　苫小牧協会	長沼町社協、新冠町社協、 特別養護老人ホームアポロ園、 障害福祉サービス事業所ｉ・box	ノートパソコン、 パソコン機器一式、マットレス、 発電機一部費用
令和6年12月	札幌「999人の第九」の会	北海道ボランティア･市民活動センター	金　50,000円
令和6年12月	住友生命保険相互会社　札幌支社	石狩市社協	タオル　249本
令和6年12月	NECソリューションイノベータ株式会社	子ども食堂	金　11,490円
令和6年12月	株式会社ツルハホールディングス、 クラシエ株式会社	紋別市、深川市社協、斜里町社協、 浜中町社協、猿払村社協	車いす　15台
令和6年9月～ 令和7年1月	株式会社セブン－イレブン・ジャパン	道内市町村社協８か所	食料品、雑貨類

贈呈式



11月5日
一般社団法人生命保険協会 札幌協会



12月3日
札幌「999の第九」の会



12月26日
株式会社ツルハホールディングス
クラシエ株式会社



IS503035/JISQ27001:2006
当社は ISMS 認証企業です。

知的 快適 創造的オフィス創りで地域に貢献する

サンコー事務機株式会社

お客様の変えたい・良くしたいを「カタチ」にするオフィス・施設の総合ディーラー

〒060-0013 札幌市中央区北 13 条西 18 丁目 36 番 90
TEL 011-614-2255（代表）FAX 011-614-5245　URL http://www.sancoh.gr.jp/

取扱品目
OA 機器全般の販売・レンタル 、オフィス関連商品の販売、プロバイダー事業、ＩＣＴ関連機器の販売、ネットワークシステムの構築、小冊子などの印刷を行うドキュメントサービス、情報システムの提案・導入・保守、基幹系業務（販売管理・給与計算・財務）等をはじめ、その他各業種業務用パッケージソフト提案・導入・保守、OA 機器の保守、点検、修理等、福祉機器関連商品の販売、NTT 商品取次、その他、オフィス・施設の環境をよりよくするための一切の事業

授産製品紹介

きらきら☆マルシェ

北海道社会福祉協議会
北海道障がい者就労支援センター

道内の障がいを持った方々が、その人の個性や能力に合わせながら、施設や作業所で、自立生活に向けた作業・訓練の一環として作っている製品をご紹介します。



① 社会福祉法人藻岩この実会 お菓子工房 NOIX ［札幌市］

商品名（すべて税込）

- ゆめちから100%食パン 470円
- この実クッキー
  （プレーンミックス、フルーツミックス） 330円
- もいわクッキーシュー 180円

当法人は、手作り焼き菓子とパンの店「お菓子工房ＮＯＩＸ」を運営しています。

お菓子工房ＮＯＩＸでは、障がいを持った方々の就労支援事業所として、道産小麦を使用した食パンや焼き菓子、シュークリームなど生菓子の製造、販売を行っております。

道産小麦「ゆめちから」を100％使用した食パンは一番の人気商品で、ミルク風味のしっとり、もっちりとした食感が特徴です。大変有難いことにたくさんのお客様にリピートしていただいております。

また、焼き菓子は当店看板商品である「この実クッキー」が一番人気で、チョコチップやアーモンドを使ったプレーンミックスと、オレンジピールやレーズンを使ったフルーツミックスの２種類をご用意しており、一袋で様々な味を楽しめる商品になっております。

「この実クッキー」のプレーン生地を使った「もいわクッキーシュー」は、生クリームと合わせたカスタードクリームを１つ１つ手作業で丁寧にお詰めしており、サクサクの生地が特徴です。

今回ご紹介した商品以外にも多数店頭に商品が並んでおります。店頭ではご予約やお取り置きも承っておりますので、お気軽にお問合せください。

なお、「この実クッキー」は店頭にて販売しているほか、元気ショップや南区のお祭り、イベント等でも販売しております。

問い合わせ先
TEL　011-578-2224
ホームページ　https://noix.moiwakonomikai.com
社会福祉法人藻岩この実会
お菓子工房 NOIX
札幌市南区中ノ沢1丁目11-11

② 社会福祉法人北光福祉会 就労継続支援Ｂ型事業所遊友ほたる ［遠軽町］

商品名（すべて税込）

- まな板
  （280㍉×20㍉×180㍉等） 各種 860円
- なべしき
  （230㍉×20㍉×170㍉等） 各種 730円
- 犬車
  （85㍉×35ミリ×55㍉） 3,900円
- ミニカー
  （85㍉×35㍉×55㍉等） 各種 1,050円
- 動物車
  （95㍉×25㍉×170㍉等） 各種 1,300円
- ハッカスプレー（12㎖） 1,080円
- ハッカ油（30㎖） 1,200円
- ハッカ油（100㎖） 2,800円



オホーツク海やサロマ湖にほど近い遠軽町にある遊友ほたるは、知的に障がいのある方たちの就労支援の場所として、主に木工製品の製造や販売を行っています。

かつて、林業が盛んであった頃に誕生したウッドクラフトを継承しながら、一つひとつ手作りで木工製品を製作しています。

木材は、道産の栓の木を使用し、木の美しい木目、さらに丁寧に磨きをかけた製品は優しい手触りで、自然の温もりを感じていただけるものになっています。

種類も豊富で、小さなお子様が乗って遊べる木馬や三輪車、手に取って遊べるミニカー、動物車といった玩具、また、日用品として使用できるまな板、鍋敷き、キーホルダーなどもあります。

また、一本一本丁寧に瓶詰め・ラベル張り・化粧箱詰も行っている天然の植物オイル「ハッカ油」も販売しています。こちらは、虫除け効果、消臭効果、リラックス・目覚まし効果など色々な用途でお使いいただいております。

これらの商品は、当事業所内で販売しているほか、新千歳空港ターミナルビル内にある店舗、元気ショップいこ～る（ＪＲ札幌駅西コンコース１階）、道の駅まるせっぷ木芸館、流氷硝子館（網走）等でも販売（一部、ウッドクラフトのみ）しております。

当事業所に直接ご連絡いただければ、地方発送も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

オホーツクの大地や爽やかな風にのせて、素敵な商品を道内や全国へお届けします。

問い合わせ先
TEL　0158-46-2460
メール　hotaru@hokko-fukushi.or.jp
社会福祉法人北光福祉会
就労継続支援Ｂ型事業所遊友ほたる
紋別郡遠軽町生田原安国347番地2

＜ナイスハートネット北海道からお申し込みいただけます＞

北海道社会福祉協議会では、北海道が推進する「障がい者就労支援推進計画」に基づき、企業や団体と授産事業所をマッチングさせ、授産事業所等の商品、役務を広く企業や団体の方にご利用頂くためにホームページを開設しています。今回ご紹介した商品も取り扱っており、ホームページ上で仮申し込みができます。

（ホームページ上では決済できないため、申し込みを一旦道社協において受け付け、事業所へ発注します。）

ホームページアドレス　http://nice-heart-net.jp/　ナイスハートネット　検索　クリック

明るい社会
No.702 2024年度 第2号
■発行／社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 TEL 011・241・3976 FAX 011・251・3971 http://www.dosyakyo.or.jp
■定価／120円（会員90円・一括25円） ■印刷／（株）北海道機関紙印刷所
※『明るい社会』は、赤い羽根共同募金の助成金を受けて作成しています

令和６年度

https://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険 検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が５類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して２つのプランとします。

保険金額・年間保険料（１名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類＼プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	特定感染症		補償開始日から補償(*)	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）	
年間保険料			350円	500円

＊特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和５年５月８日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

商品パンフレットはコチラから

（ふくしの保険 ホームページ）

＜重 要＞

- 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- 中途脱退による保険料の返金はありません。
- 中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ご加入は、お１人につきいずれかのプラン１口のみとなります。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償（傷害保険）

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の 9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

〈SJ23-11315 より抜粋〉

編集後記

雪が少ない日々が続いておりましたが、やはり帳尻合わせのごとく盛り返してきました。。。早く春の訪れが来ないか楽しみにしています。